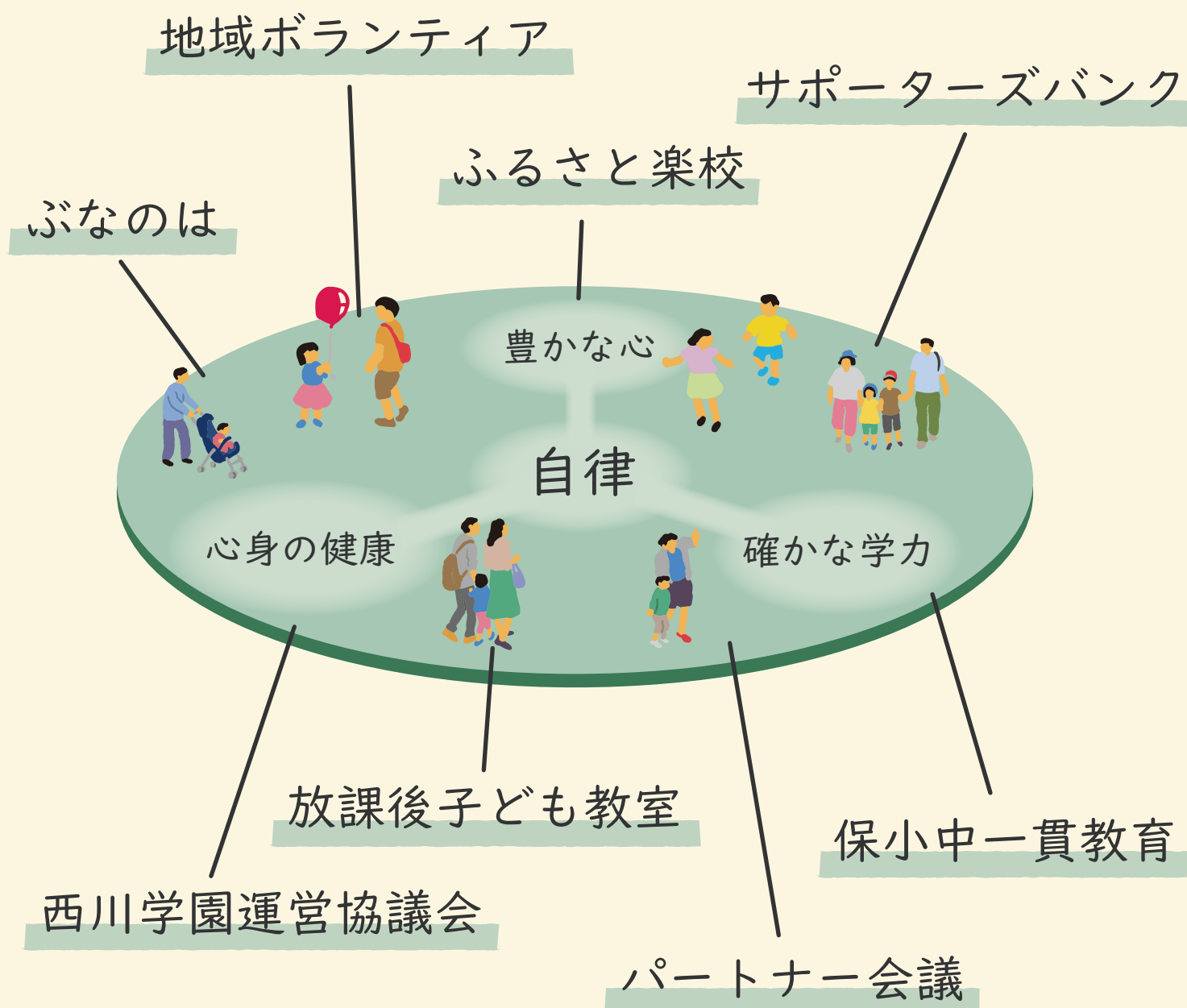


西川町の教育



子ども一人ひとりへの きめ細やかな教育

西川町はまち全体が力を合わせて子どもを育てています。
誰ひとり取り残さない教育環境を形づくるために、
様々な人が、様々な場所で活躍しています。



保小中一貫コミュニティスクール 西川学園

保育園・小学校・中学校は、それぞれ町に一校ずつ。
その特徴を生かし一貫性のあるカリキュラムを展開し、
子どもたちの「生きる力」を育んでいます。

西川学園

にしかわ保育園・西川小・西川中からなる、
連続した育ちを大切にする学園です。



にしかわ地域・ 学校パートナー会議

地域全体で子供を支える活動や
持続可能なコミュニティづくり
について具体的に行動します。



西川学園 学校運営協議会

学校と地域住民が一体となっ
て、学校運営の改善や児童生徒
の健全育成に取り組みます。



町のすべてが、まなび場。

歴史ある文化、雄大な自然や温かな町民性が西川町の特徴。
町では、その強みを生かしてさまざまな特色ある教育が行われています。



「ふるさと」を学ぶ授業

保小中の12年間を通じ、町民の協力のもと、様々な学習を行っています。
小学校では、「ふるさと^{がっこう}楽校」と銘打ち、子どもが主体となり計画を立て、町内全域をフィールドに文化や自然を体験。中学校では選択学習により町の芸術文化に触れ、その伝承を学びます。「ふるさと」を学ぶ授業が、子どもたちの郷土への誇りと愛着を育み、次世代の担い手を育てます。



四季折々の雄大な自然体験

夏は月山湖でのカヌー教室、冬はスキー教室、そして月山登山やキャンプ。
四季折々の美しさと厳しさを肌で感じる体験は、西川町ならではの。
大自然の中での冒険が、子どもたちのたくましさと豊かな感性を育みます。



まなびを支えるスクールバス

日々の登下校の送迎はもちろん、校外学習でも学校の希望に応じてバスを活用できる体制を整えています。「行きたい場所」へすぐにアクセスできる機動力が、地域全体を使ったアクティブな学びを支えています。

地産地消の美味しい給食

保育園と小学校には自校給食のための厨房があります。作りたての温かい給食は中学校にも提供しており、地元の食材をふんだんに使い、栄養士・調理師さんの工夫と愛情満タンの給食は、子ども達に大人気。「食」を通じて、子どもたちの健やかな成長を町全体で応援します。

放課後子ども教室

西川小学校では、「放課後子ども教室」を無料で開催しています。けん玉教室、英語教室などのほか、クリスマスなど季節のイベントも実施。様々な体験活動や自由な遊びができる「放課後子ども教室」は、利用者にとって安心安全な居場所になっています。また、中高生ボランティアも協力し、子どもたちの好奇心と学びの幅を広げています。

子どもの居場所「ぶなのほ」

学校だけが学びの場ではありません。「ぶなのほ」は、どんな子どもでも安心して過ごす事のできる第三の居場所。子どもの SOS や「やりたい」をキャッチし、町のネットワークで子ども一人ひとりの成長を支えます。



にしかわの教育 Q&A

Q1. なぜ、「保小中一貫教育」なの？

少子化や情報化社会の進行、教育制度改革など、子どもたちを取り巻く環境は大きな変化が予想されます。予測不能な未来社会を心身ともにたくましく、自律して生き抜く子どもを育てるために、西川町では一貫性のあるカリキュラムで保小中一貫教育を実施しています。

Q2. 町の大人はどのように関わっているの？

西川学園（にしかわ保育園・西川小学校・西川中学校）での学びは、多彩な経験やさまざまな知恵を持つ町民の皆さんが支えています。「西川学園サポーターズバンク」は、こうした人材を集め、参加の輪を広げながら、町民総がかりの教育を展開できる体制を整えています。

Q3. どのような教育を目指しているの？

西川町の豊かな自然と文化、そしてデジタル技術の良さをいかし、保育園・学校・家庭・地域が協働しながら、幼児期から義務教育の終了まで町民総ぐるみで教育に取り組みます。ふるさとへの愛と誇りを持ち、未来を拓くまちづくりの担い手となる子どもたちを、町全体で育てています。



問い合わせ： 山形県西村山郡西川町大字間沢 280
西川町教育委員会まなぶ課

Tel : 0237 - 74 - 2114